



〈 学校教育目標 〉

自分とふるさとに誇りをもち、
未来を生き抜く“チカラ”の育成

上関町立上関中学校
学校だより No. 1
令和8年4月13日

HPアドレス <http://www.town.kaminoseki.lg.jp/kami-juniorhighschool/index.html>



～小中一貫で育む「未来を生き抜くチカラ」～



「かみのせき學苑」として5年目の春を迎えました。本校は、義務教育9年間を見通して子どもたちを育てる小中一貫校です。小中学校の教職員が「一つのチーム」となり、すべての子どもたちを全員で見守り、導いてまいります。左の写真は年度当初の小中合同職員会議の後に撮影した小中教職員の写真です。

小中一貫教育には次のようなメリットがあります。

- 「安心感」の継続：小学生の頃から知っている先生が中学校にいて、環境の変化による不安を和らげます。
- 「あこがれ」と「思いやり」：中学生の凛々しい姿に小学生が憧れ、中学生は年下の子をいたわることで、豊かな人間性が育ちます。
- 「学び」の接続：9年間の学習を系統的に捉え、中学校入学時の学習や生活のギャップ（中1ギャップ）を解消します。

今年度、本校が特に力を入れて取り組む「重点事項」をまとめました。少人数の強みを最大限に活かし、子どもたち一人ひとりが「最高の主役」になれる教育を推進します。

① 確かな学力（勉強する力）

●オーダーメイドの支援：タブレット等のICTも活用し、一人ひとりの理解度やつまずきに合わせた最適な学習支援を行います。

●「読む・書く・対話する」：すべての教科で、文章を正しく読み取り、自分の考えを言葉にする力を育てます。

●自学の充実：自己評価を活用し、生徒自身が「今何ができるようになったか」を自覚しながら、自ら学ぶ姿勢を養います。

② 豊かな心（やさしさとやる気）

●生徒が主役の行事づくり：運動会や學苑祭など、生徒が自ら計画し、実行する経験を通して、自信と責任感を育みます。

●「ふるさと」を愛する活動：地域の方々とともにやる海岸清掃や農園活動を通じ、上関町への誇りと愛着を深めます。

③ 体力や気力の育成（健康な体と心）

●ネット・SNSの正しい活用：学校・家庭・地域で協力し、メディア利用のルール（10箇条）を守り、自己管理能力を高めます。

●運動習慣の定着：得意・不得意に関わらず、日常的に体を動かす楽しさを味わわせ、健やかな体を育みます。

新しい年度のスタートにあたり、教職員一同、決意を新たにしております。保護者・地域の皆様、今年度も温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

よろしくおねがいします（着任教員の紹介）

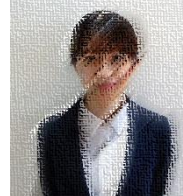
このたびの異動により3名の教職員が着任しました。1日も早く慣れ、かみのせき學苑の子どもたちのために力を発揮していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



教科：社会
3-1担任
室積中学校より



教科：社会
3年副担任
田布施中学校より



養護教諭
和木中学校より

2名の生徒が入学しました



暖かな春の陽気に包まれた4月8日、令和8年度入学式を挙行いたしました。今年度は、2名の新入生が上関中学校の門をくぐりました。新しい制服に身を包み、少し緊張した面持ちで入場した2人でしたが、呼名では力強い返事を聞かせてくれました。



その姿からは、これから始まる中学校生活への期待と決意が感じられ、会場は温かな拍手に包まれました。新入生代表が「上関中学校の生徒としての誇りと責任をもち、自身と郷土の発展のために、切磋琢磨しながら努力し続ける」という決意を述べました。それに対して、在校生代表の生徒会長から「周囲の人への感謝を忘れず、中学校の伝統を引き継ぎ、新しい歴史のページを一緒につくっていきましょう」というメッセージを届けました。

式後には、教室で中学校生活最初の学活が行われ、担任・副担任との顔合わせや、生活の心構えや提出物など、学級開きのための説明がありました。新入生は緊張感もある中で、良い姿勢を保ちながら、一生懸命話を聴いていました。1日も早く中学校生活に慣れ、自分の良さを発揮してほしいと思います。



「新入生へのメッセージ」式辞に込めた思い

式辞では、新入生に向けて「少人数だからこそ、あらゆる場面で2人が最高の主役になれる。その贅沢なステージを存分に活かしてほしい」「2人の声が学校の活気となり、2人の挑戦が新しい歴史を作る」という思いを伝えました。

そして、本校の教育目標である「自分とふるさとに誇りをもち、未来を生き抜く“チカラ”の育成」を具現化するための「四つの道しるべ」を贈りました。

1. 挑戦する：まずは「少し頑張ればできそうなこと」から一歩を踏み出す。
2. 認める：自分を好きになり、仲間の良さをきちんと言葉にして尊重し合い、深い絆を結ぶ。
3. 関わる：先生や上級生、地域の方々と対話し、自分とは異なる価値観に触れて世界を広げる。
4. 感じる：ふるさとの美しさや人の温かさに心のアンテナを立て、感動する心を大切にする。

漁協の方からお祝いにマダイをいただきました

入学式の日には県漁協室津支店の方が来校され、新入生に上関の名産のマダイを昨年度に引き続きプレゼントしていただきました。「貴方を祝鯛（いわいたい）」と題して、大きなマダイ1匹をすぐに調理できるように下処理をしてパックにしたものを一人ひとりにいただきました。昨日、八島近海で捕ったものを漁師が集まって捌いてくださったとのことでした。「子どもたちのために他にも協力できることがあれば遠慮なく声をかけてください」とおっしゃってくださいました。このような地域の方の応援はとてもありがたいです。



<4月後半の主な行事>

14日(火) 小中合同集会

21日(火) 家庭訪問(上関)、3年全国学力学習状況調査(英)

23日(木) 家庭訪問(室津)、3年全国学力学習状況調査(国数)、1, 2年4月確認問題

25日(土) 授業参観、育友会総会、学年懇談、部活懇談会